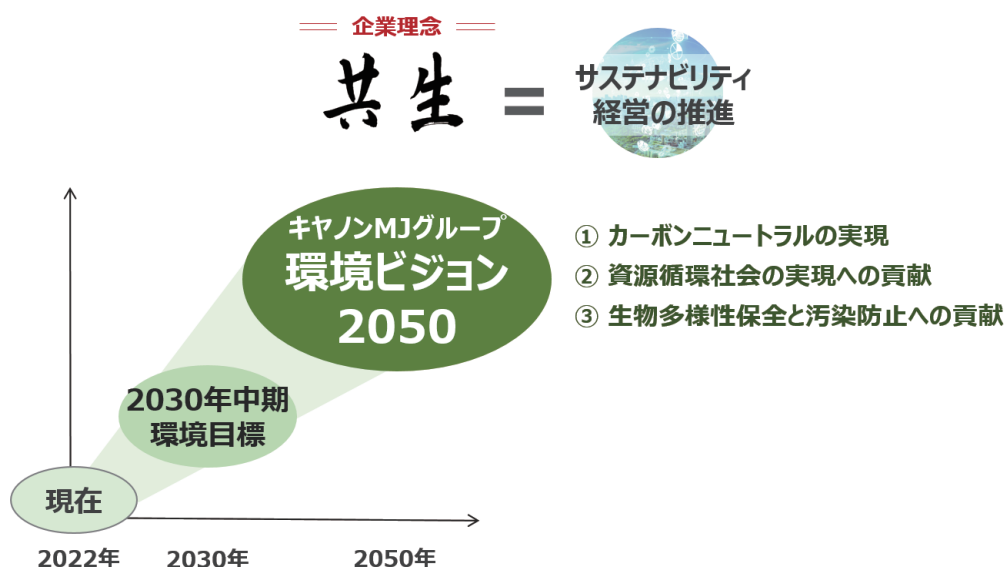


NEWS RELEASE

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

「キヤノンMJグループ環境ビジョン 2050」および 「キヤノンMJグループ 2030年中期環境目標」策定について

キヤノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長:足立正親、以下キヤノンMJ)は、キヤノングループが掲げる企業理念「共生」のもと、サステナビリティ経営を推進しています。このたび、持続可能な社会の実現に向け、「キヤノンMJグループ環境ビジョン 2050」および中間目標である「キヤノンMJグループ 2030年中期環境目標」を策定しました。



近年、気候変動対策について、パリ協定の採択をはじめ世界では脱炭素への動きが加速しています。国内においても政府の2050年カーボンニュートラルに関する宣言やCO₂排出削減目標の見直しなど、カーボンニュートラルに向けた取り組みが進んでいます。資源循環においてもプラスチック問題が世界的な環境課題となり、また生物多様性への関心が一層高まるなど、グローバル社会において企業は「気候変動対応」、「資源循環」、「生物多様性保全」といった地球環境に配慮した経営が求められています。

そのような社会的要請を受け、このたび2050年に向けた「キヤノンMJグループ環境ビジョン 2050」を策定し、3つの目標として①カーボンニュートラルの実現、②資源循環社会の実現への貢献、③生物多様性保全と汚染防止への貢献、を掲げました。あわせて、その中間目標である「キヤノンMJグループ 2030年中期環境目標」を定めました。

2030年中期環境目標		
①カーボンニュートラルの実現	②資源循環社会の実現への貢献	③生物多様性保全と汚染防止への貢献
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自社CO₂ 38%削減(2021年比)※1※2 ・ 事業を通じたお客さまのCO₂削減貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 製品廃棄物ゼロエミッション※3 ・ プラスチック廃棄物の削減 ・ 水の効率的利用による使用量削減 ・ 水リスク分析と情報開示 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会貢献活動の刷新 ・ グリーン調達による有害物排除

